

NPO 京都コミュニティ放送  
第69回番組審議会

開催日時：2012年10月19日（金） 14:30～16:00  
会場：中京区烏丸三条上る 烏丸ビル2階 Flag 三条  
審議委員総数：9 出席 7人 欠席 2人  
出席委員：市古和弘 井上泰宏 山本時子 中村 正 ジェフ・バーグランド  
福井秀彦 津田正夫  
欠席委員：野池雅人 丸橋泰子  
局側委員：時岡浩二 町田寿二  
ゲスト：無し (順不同敬称略)

報告事項：

2012年10月3日に発生したDADサーバー不具合による重大放送事故に関し、放送法第115条第2項の規定による近畿総合通信局の立入検査を10月17日に受けたことなどを報告した。深夜のエアモニターに関して委員からもコメントがあった。

深夜番組はタクシー運転手が良く聞いている。昔の自分の深夜番組のことを今だに覚えているタクシー運転手がいる。(ジェフ・バーグランド氏) 深夜の音楽番組を制作するシステムとエアモニターの体制を共同して作ればどうか。(井上泰宏氏)

審議番組： 「被災地支援ラジオ」 毎週第水曜日 19:00-19:30 放送

最初に10月17日放送の同番組を試聴した後、審議に入る。

局側委員からの説明：

東日本大震災の発生直後から局制作で震災関連特別番組を放送してきた。2012年に入り震災関連番組も多様なゲストや内容となり、「被災地を見守り、忘れない」をテーマに新番組「被災地支援ラジオ」を編成した。被災地の声やボランティア、支援者の活動報告など、様々なインタビューを2012年8月から放送している。(2012年10月16日付 京都新聞に掲載される。)

審議委員からのコメント：

ゲストの方(西山さん：福島からの避難者)はお話しが上手な人ですね。

原発災害の情報は行政情報以外の情報も重要であり、コミュニティ放送は重要な役割がある。西山さんのような方のインタビューはコミュニティ放送の強みである。

被災地や避難先でも引き裂かれた家族や人々の心境を伝えて欲しい。

被災者、被災地の次のステップをどうサポートするかが重要。

クラウドファンディングで被災者を支援することもできる。

原発作業員の話については、あまり日本では報道されていない。外国人が第3者的に話すほうが伝わるのではないか。

番組の冒頭にラジオカフェがこの番組を通し、被災地支援にどう関わろうとしているかの姿勢をくどくでも毎回入れるほうが良い。

聞き手、レポーターはもう少し中立になるほうが、インタビューが生きてくる。

除草剤でパーキンソン病が発生することなども、あまり報道されていない。

このような被災地の情報は被災地だけでなく日本の将来に関わる問題である。

このような番組は少し間を置いて放送するとリスナーにはより効果的に伝わる。

原爆投下本籍地の結婚差別の問題など、原発事故の問題はこれからより複雑になると思われる。

以上で審議を終了した。

この審議会の議事録は10月29日から事務所に据置き閲覧できるようにした。

また、10月29日(月)13:15から「番組審議会だより」として放送した。